

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年11月17日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000069"/>	整理番号 <input type="text" value="11462"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>	
表 題	いつでもどこでも疾患の予兆・発症を診断する計測及び支援システムの開発			
技術分野	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text" value="情報・通信"/>	<input type="text" value="医療機器"/>	<input type="text" value="土木・建築"/>
適用製品	聴診器の類似応用, セキュリティー, 監視, 調査, 捜査, 診療, 保守, 管理			
目 的	生体から発生する時系列信号には, 生体内部で起きている正常・異常に伴う情報が含まれている。各種疾患の発症には, 異常信号が発信されているため, この信号とその要因が特定できれば, 早期の診療が可能になる。そのためには, いつでもどこでも計測可能な診断システムが必要となる。聴診器のように生体に当てるだけで, これらの情報が取得できる, 生体用音響センサと診療支援システムを提供する。			
技術概要	診療支援システムとは, 疾患部位からの信号解析により, データベース化したデータと照合し, 発症の有無や進行度合を簡易的に診断するものである。これは機能化した聴診器のように使える。すなわち, 各疾患に対する臨床からの診療所見とこれに対応する信号との相関関係をデータベース化する必要がある。これを実現するには, 生体信号を捉える計測方法と計測装置の開発が必要である。 例えば, 変形性関節症に関連して言えば, 正常と異常の信号の違いは, 関節可動時に現れる。センサは信号誘導体を皮膚に点接触させて当て, これに伝搬してきた関節内部で発信した信号を, 電気的に変換する素子に伝える部分から構成される。信号は症状により変わるため時系列解析によりパターン化し, 症状との相関を図る。また, 信号の種類によりセンサを変えて, 症状との相関を図る。内外部からのノイズ除去は, 緩衝材, 二重構造化, ワイヤレス, およびフィルタリングで対応する。			

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 E-mail: nubic@nihon-u.ac.jp